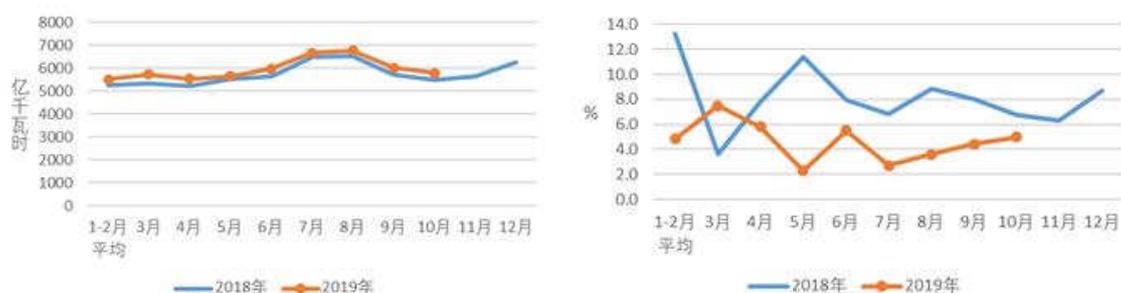


【テピアマンスリー今月の話題】2019年12月号

電力消費、第二次産業の伸びが低下

中国電力企業連合会は2019年11月27日、1月から10月までの電力消費量の状況等をまとめたデータを公表した。それによると、全国の電力消費量は5兆9232億kWhに達し前年同期比で4.4%増加した。伸び率は、前年同期に比べて4.2ポイント下がった。産業別では、電力消費量全体の約67%を占める第二次産業の伸びが最も低く対前年同期比で3%の増加。電力消費量の伸びを省・自治区別に見ると、チベットが最も高く12.9%を記録。以下、広西12.8%、海南9.7%、内モンゴル9.6%、雲南9.1%、新疆8.5%、江西8.2%、安徽7.5%、湖北7.5%、湖南7.1%、四川7.1%、広東6.1%、山西5.2%、河北4.6%などと続いている。¹

電力消費量と伸び率の比較



出典：中国電力企業連合会

設備容量 18億7000万kWに

発電設備容量は、2019年10月末時点で18億7000万kW（出力6000kW以上を集計）に達し、前年同期比では5.8%増加した。電源別に見ると、火力発電11億7000万kWで、内訳は石炭火力10億3000万kW、ガス火力8928万kW。このほか、水力発電3億1000万kW、風力発電（送電網接続分）2億kW、太陽エネルギー発電1億4000万kW（同）、原子力発電4874万kWなどとなった。

10月までの一定規模以上の火力発電所の発電量は4兆2041億kWhとなり前年同期に比べて1.1%の増加。伸び率は前年に比べて5.5ポイント低下した。火力発電所の発電量の増加率を見ると、チベット140.7%を筆頭に、広西25.9%、湖北19.3%、吉林11.1%などとなった。一方で、青海（-13.9%）や雲南（-7.7%）、河南（-7.4%）、上海（-6.8%）などはマイナスとなった。

¹ 「2019年1-10月份电力工业运行简况」

(<http://www.cec.org.cn/guihuayutongji/gongxufenxi/dianliyunxingjiankuang/2019-11-27/195980.html>)

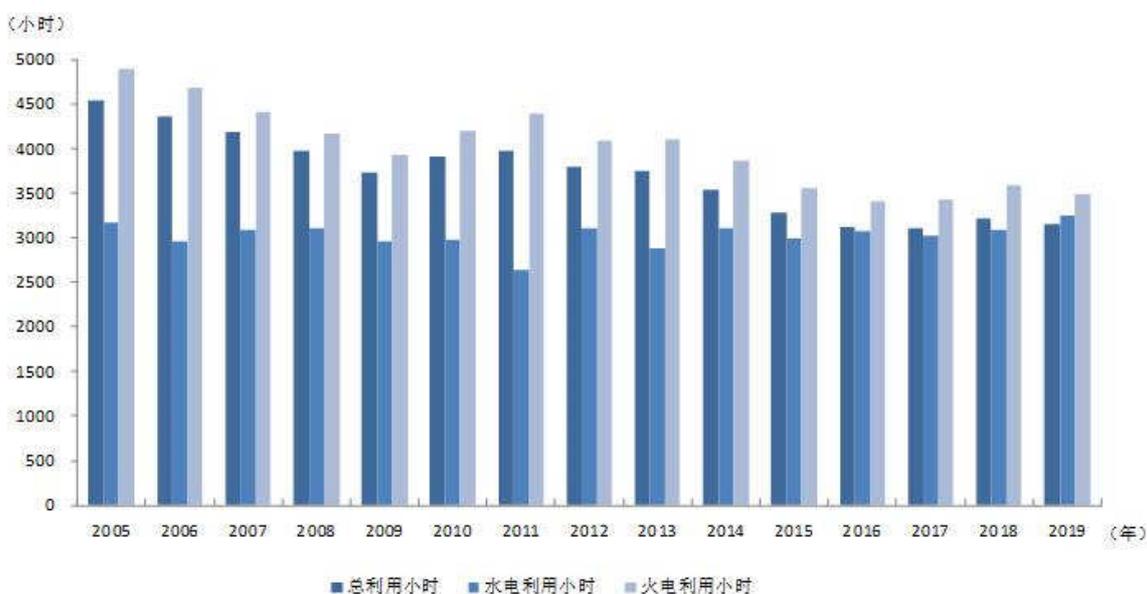
一定規模以上の水力発電所の発電量は1兆13億kWhとなり前年同期比では6.5%の増加。伸び率は前年に比べて1.9ポイントの上昇。水力発電量が多かったトップ3省は、四川2623億kWh、雲南2312億kWh、湖北1163億kWhで、この3省だけで全国の水力発電量の60.9%を占めた。

平均利用時間、55時間減少し3157時間に

発電所の平均利用時間数は平均で3157時間となり、前年同期と比べると55時間の減少。電源別に見ると、水力発電所の平均利用時間数は3244時間で、前年同期に比べて162時間の増加。水力発電設備容量上位10省・区では、湖北と広西を除いて平均利用時間数が増加した。福建の1152時間増加を筆頭に、湖南(791時間)、浙江(553時間)、広東(508時間)などが増加した。

火力発電所の平均利用時間数は3495時間で、前年同期比では100時間の低下。石炭火力3590時間、ガス火力2168時間だった。火力発電所の平均利用時間数を省・区別に見ると、18の省・区で前年同期を下回り、天津や青海、上海、広東、湖南、河南、江蘇では、前年同期と比べて300時間以上減少した。また、福建や浙江、遼寧、安徽、山東でも200時間以上、前年を下回った。一方で、広西では771時間の増加。新疆(368時間)と四川(314時間)でも増加した。これ以外にも、湖北や内モンゴル、貴州、海南、吉林などで、前年同期に比べて100時間以上増加した。原子力発電所の平均利用時間数は6040時間となり前年同期比で159時間の減少。風力発電所の平均利用時間数は1688時間で、前年同期比で36時間の減少。太陽エネルギー発電所は1117時間となり57時間の増加。

発電所の利用時間数の推移



出典：中国電力企業連合会

地区別に見た設備容量と利用時間数



出典：中国電力企業連合会

省間送電量が 12.8%増加

全国の省・区を跨った送電量は 4516 億 kWh となり、前年同期比で 12.8%の増加。地域別では、華北から華中への送電（超高压）が 29 億 kWh で 44.3%の増加、華北から華東への送電が 443 億 kWh で 41.3%の増加、東北から華北への送電が 378 億 kWh で 27.5%の増加、華中から華東への送電が 332 億 kWh で 1.4%の減少、華中から南方への送電が 190 億 kWh で 6.6%の減少。

発電所の新設 7000 万 kW 超に

1 月から 10 月までに新たに運転を開始した発電所の設備容量は 7117 万 kW に達した。前年同期に比べると 1867 万 kW 少ない。電源別に見ると、火力発電 3237 万 kW（石炭火力 2250 万 kW、ガス火力 579 万 kW）、原子力発電 409 万 kW、風力発電 1466 万 kW、太陽エネルギー発電 1714 万 kW、水力発電 292 万 kW などとなっている。太陽エネルギー発電は前年同期と比べて 1937 万 kW も少ない。水力発電と原子力発電も前年同期をそれぞれ 416 万 kW、63 万 kW 下回った。一方で、火力発電は前年同期を 539 万 kW 上回った。

中国政府は、産業構造調整を進めており、発電事業もその中に含まれるが、石炭火力からの依存脱却は一朝一夕にはいかない。

(窪田 秀雄)